

平成25年度 家庭科の授業改善のための方針

1 本年度の方策

① 授業で生かす

- ・ 基本的な知識・技能を習得するために、体験的・実践的な活動を取り入れる。
- ・ 学習したことを家庭で生かし、調理したり製作したりしたものを報告し、共有化する。
- ・ ワークシートなどを活用し、個々の意欲・技能を見取り、個に応じた指導をする。
- ・ 家庭科室の教材用具等を整備し、学習環境を向上させる。

② 全校で生かす

- ・ 製作したものを生活で使っている様子を提示する。
- ・ 授業の様子を見たり、話を聞いたりして関心を高める
- ・ 「衣・食・住」への話題を提供し、家庭生活への関心・意欲を高める。
- ・ 家庭科室の活用を奨励し、他教科や日常生活と家庭科学習への結びつきを啓発する。
- ・ 学級通信等で、授業の様子を家庭へ知らせ、理解・協力を図る。

2 児童の実態

- ① 製作や実習に興味をもち取り組んでいる。
- ② 学習しようとする意欲的な態度で授業に臨んでいる。
- ③ 生活体験の不足や技能の個人差が大きい。

3 平成24年度の成果と課題（成果☆ 課題●）

☆日常生活に必要な知識や基礎的な技能を身につけることができた。

☆製作や実習に根気強く取り組み、自分が納得できるように完成させた。

☆食事の重要性や食品の栄養に関心をもち、学習した食事栄養知識を自分の生活に生かすようになった。

☆互いに協力しながら、製作や実習に取り組む、互いの良さを認め合うことができた。

●学習してきたことを、年間通して継続して実践する態度を養う必要がある。

●自分の生活だけでなく、家族や地域の人たちとよりよい生活を送れるように、さらに家庭科の学習を深めていく必要がある。

学年	問題点	重点目標
5年	・身につけた知識や基礎的な技能を、生活に活用できる児童は、少数である。	・家庭での実践する機会を設定し、互いに交流を図る。
6年	・実習や体験的な学習外では、関心が弱い児童もいる。	・活動をできるだけ取り入れ、興味関心を高める。